

小テストの回答が誤っていた出題 ☞【採点除外】で全員正解とする

研究の基礎	誤	正
科目 03 「看護研究の実際」 設問 4	1. 量的研究の流れは、順番に進み戻ることではない。	4. 量的データと質的データの両方を集めれば、解釈はそれぞれの方法で行っても混合研究法といえる。
科目 08 エビデンスの科学的活用研究II 「フェミニストアプローチ」 設問 3	4. 男女平等を促進する政策の提案をすること。	3. 男女の生物学的な違いを明らかにすること。

周産期メンタルヘルス分野	誤	正
科目 03 「周産期の親子愛着支援」 設問 5	1. 双対比較法	4. ストレンジ・シチュエーション法

周産期ハイリスク分野	誤	正
科目 08 「妊娠に伴う呼吸器・循環器系における母体の生理的变化」 設問 3	4. ヘモグロビン	2. コレステロール

タイプミスによる【誤字修正】

研究の基礎	誤	正
科目 11 論文の書き方 設問 1	1. 「投稿 <b>規定</b> 」	1. 「投稿 <b>規程</b> 」
	4. <b>現行</b> の規定文字数	4. 原稿の規定文字数
設問 2	2. <b>テー</b> タ収集	2. データ収集
設問 5	設問 5：投稿 <b>規定</b> ・・・ 1. 「投稿 <b>規定</b> 」	設問 5：投稿 <b>規程</b> ・・・ 1. 「投稿 <b>規程</b> 」

周産期メンタルヘルス分野	誤	正
科目 03 周産期の親子愛着支援」 設問 5	1. 双対 <b>比較</b> 法	1. 双対 <b>尺度</b> 法

周産期ハイリスク分野	誤	正
科目 06 胎児発育不全の管理 設問 2	4. 過形成による細胞増殖の <b>生涯</b> である	4. 過形成による細胞増殖の <b>障害</b> である

音声入力のミス (録音音声は修正できておりませんのでご了承ください)

周産期ハイリスク分野	誤	正
科目 14 産科医療保障制度 4枚目のスライド音声	1920 年代	1820 年代